

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成27年4月15日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4678600125
法人名	社会福祉法人 潤生会
事業所名	グループホーム ひまわり
所在地	鹿児島県大島郡瀬戸内町古仁屋瀬久井西8番地3 (電話) 0997-73-1311
自己評価作成日	平成27年1月20日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成27年3月7日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ・週3回(火・木・土)の午前10時30分～11時30分、余暇活動時間を設け、リハビリ体操を行い、平行棒を利用した下肢筋力強化運動を全員参加で行い、筋力アップに繋げている。
- ・ホールには常時(日中)平行棒がおかれ、平行棒を伝って歩く練習ができる。
- ・昼食のお茶は、クビギ茶(薬草)を提供し、健康維持に繋げている。(クビギ茶は毎朝煎じて、いつでも飲める状態にあります。)
- ・オムツ外しを目指し、排泄の自立に取り組んでいる。
- ・開かれた施設を目指し職員は頑張っています。
- ・ひまわりは、朝夕近くの山から鳥の鳴き声が聞こえ、自慢の出来る環境にあります。

・当ホームは毎朝の理念の唱和で、ケアに対する方向性を共有し、理念に沿った個々の能力を活かしたケアや地域との交流に努めている。

・利用者個々の居室にはインフルエンザなどの感染症対策で加湿機が備えられている。共用のホールには大型の乾湿機を設置し、食堂前やホール壁にもクリーンメーターや室温器メーターを設備し、夏場にはホール天窓を開閉し涼しい風を入れ込むなどインフルエンザ対策や夏場の熱中症対策に備えている。

・個々の居室に洗面台やトイレが設置され、夜間時はベットをトイレ近くまで移動する工夫を行う事で、支障なくトイレでの排泄の自立支援に役立てている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	ミーティング開始時、勤務者全員で事業所独自の理念を読み上げ、具体的なケアについて話し合い、職場の教養を朗読統一を図り取り組んでいる。	理念を唱和し、職員全員で理念の共有に努めている。今日一日を利用者にどのようにして送つてもらうか、利用者が現在自分でできている事をどのようにして継続していくか等、話し合って理念の実践に努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に加入、母体施設を中心とした夏祭り、運動会等は地域の方達の協力を得て行われた。今年も子供会交流を持ち、32名の子供達や母親との交流の場が持てた。	自治会に加入し、職員は自治会の役員や子供会の役員を担っている。母体施設の行事に自治会からの参加もある。中学生の職場体験学習や高校生の夏休み期間のボランティアを毎年受け入れて地域との交流を行っている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	認知症になった家族のケア、徘徊対応等経験を生かし相談に乗ることが常にある。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	地域・家族・行政の協力の下、年6回、会議を持つ事が出来ている。インフルエンザの面会者の対応、前回の運営推進会議で取り上げた検討事項等の報告、改善方法などアドバイスを頂いている。	会議は定期的に開催し、利用者の状況やケアサービスの取り組み及び外部評価の報告を行っている。インフルエンザ流行時の面会者等への対応についてや事業所前の樹木の件で会議参加者が職員と共に役場に伐採の依頼に行く等、運営に活かしている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	利用者の生活、身体状況、ケアの取り組み等を伝え、アドバイスや助言を頂き協力関係を築いている。	町担当者とは事業所の実情を報告し、利用者の介護保険認定証の件やインフルエンザ・肺炎球菌等の予防接種の時期等を相談している。運営推進会議以外にもよく来訪してもらい、研修会の案内や福祉関係の情報等を聞き連携を密にしている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束廃止委員会を、母体施設と合同で、年3回持ち、共有認識を図っている。会員は2名が交代で、参加する様になっている。	母体施設の身体拘束廃止委員会を中心に身体拘束についての研修を行っている。ホームの委員が会議に参加し、研修の内容を職員に報告している。ベットから転落骨折しないよう家族から夜間時のベット柵設置の要望があり、対応している。日中の玄関の施錠はせずに自由な暮らしを支援している。	身体拘束廃止の基本的な方針に基づいた取り組みが望まれる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている。	10月に高齢者虐待についての研修会が母体施設であり夜勤者を除く全職員参加、知識を高めるよう努めている。			
8	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	10月高齢者虐待防止及び権利擁護（成年後見制度）について専門家の研修を受け知識を高めた			
9	○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	利用前に重要事項説明書に基づき、疑問点等、納得のいく様説明、利用してもらっている。			
10 6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	毎月生活・身体状況等を手紙で知らせ、家族の意見を求める様にしている。家族会には1年間のひまわりの出来事等を報告、意見を聞く様にしている。面会時や電話での意見は申し送りで伝達、共有を図っている。	利用者からは日常の暮らしの中で思いを聞いている。家族からは面会時や電話で状況を報告し意見や提案を把握している。インフルエンザ期間中の様子や預かっている金銭が足りているのかの確認や受診時・外出の送迎の事の意見等が出され、記録し職員で話し合い運営に反映している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	常に職員会議の参加を求め、都合の付かない時は管理者が会議内容を報告し、意見を求め、結果報告をしている。	毎月の職員会議で意見や要望を報告したり、日頃から気が付いたことを管理者に相談している。利用者の皮膚疾患の薬の件や筋力低下防止のリハビリ体操・立位保持訓練などを職員の提案で行っている。	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働くよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	頻繁に事業所に来て、職員や利用者と接し、お茶請けを提供してくれる良き代表者として慕われ、気持ち良く働ける環境作りに努めている		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	事業所関係、法人関係、町主催の勉強会等、知識を広める様に努めている		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	グループホーム主催の勉強会に参加交流を深め質の向上を目指している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	サービスの利用について相談受けた時は、必ず本人と面談し、心身の状態等や思いを聞き、安心して生活が出来る様、受け入れ体制につとめている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	利用開始する前に困って居る事は何か、どのような生活を望んでいるかを聞き出し、信頼関係を築く様努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	早急に対応が必要な事は可能な限り即対応を行う等、状況に応じ対応している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	仲間たちで一緒に話ができる、島口で昔を語り合える事は方言の良さにあると利用者同士で話していた。島唄は毎日の日課と唄い、楽しい時間を築いている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19	○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	自分の親として子として毎日を過ごして貰う事が、ひまわりの信念としている。家族との生活の流れとして誕生会を家族の参加の中で祝っている。			
20	8 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの理美容院へ行く時、ひまわりでは見えない、安心した表情を観る事が出来る。 ドライブの途中自宅に寄るなど本人を支え合う支援につとめている。	集落の友人・知人が会いに来たり、地域の文化祭やバザーに出かけて友人と会ったり、同窓会に参加したりしている。ドライブで自宅訪問・馴染みの理美容院に行く等、関係が途切れないように支援している。家族の協力を得て墓参り等にも出かけている。		
21	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	男性3名に女性も加わり、一緒にカルタ取りをする。職員も負けずに雰囲気作りと、仲間作りにつとめている。			
22	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院治療で、やむなく退所される方もいる。家族や病院と連絡を取り合い状態把握に努め、相談にのり支援につとめている。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容

III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>本人の訴えや希望を大事にし、私達で出来る事はスタッフ間で検討、出来ない事は家族に相談本人が納得した生活を目指していっている。</p>	<p>利用者個々の思いや希望をケア提供時や会話の中で把握し、全職員で共有し、実現できる事は支援している。家族との会話を希望している利用者には電話で話す機会をつくるなど意向に添った支援をしている。外出希望の利用者には家族の協力を得て好きな所に出かけている。把握の困難な場合は家族から情報を聞き、職員間で話し合い、本人中心の支援を行っている。</p>	
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>生活歴、生活環境等を把握し在宅時の生活環境に近づけたサービスが行えるように支援している。</p>		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>本人のやりたいことや気持ちを表情からくみとり、個々に合った行動がとれる様見守り支援しています。</p>		
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>長期目標は6ヶ月、短期目標は3ヶ月で見直しをしている。目標達成は中々で家族、スタッフ、医療機関からの情報も受けながら、本人参加の下計画作成に努めている</p>	<p>家族やスタッフ・医療機関などからの情報を受け、長期目標や短期目標に沿って介護計画を作成している。モニタリングは1ヶ月に1回行っている。状況に応じてその都度見直しを行っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個々にファイルを持ち、食事/水分量/排泄等が一目出来、すべての職員が確認できる様にしている。			
28	○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人の状態、家族の意向に添うよう通院や送迎など必要な支援は対応出来る様に努力していたが、説明不足も伴ってか、家族から不満が出た事も有った。			
29	○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を發揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	「子供110番を掲げ」開かれた施設をめざしている。地域住民の協力体制の元自主防衛組織団をつくり、年1回は引き続きお願いの家庭訪問を行い確認を得ている。			
30 11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族が希望するかかりつけ医との連携を取り、家族の協力も求めながら支援体制を整えている。家族が同行できないときは職員が付き添い結果を報告している。訪問診療を受けている方は、電話や手紙で結果を報告している。	かかりつけ医は本人や家族の希望を聞き受診を支援している。家族に利用者の状態を理解してもらうため、受診時に家族に付き添ってもらっている。受診時の結果報告や薬・処置方法の変更があった時等は、家族に報告し、適切な医療が受けられるよう支援している。	受診支援についてはおおむね支援の充実が図られているが、家族等のニーズもくみとり対処することが望まれる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31	○看護職員との協働 看護員は、口吊り対応の中で得た情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	体調/表情の変化を見逃さない。訪問ステーションの看護師、母胎施設の看護師と常に連絡を取り合い早期対応に努めている。			
32	○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院のダメージを極力少なくするため、本人の生活情報を医療機関に提供、医師や看護師との連携を深め、早期退院に向けて取り組んでいる。			
33 12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	看取りの経験を生かして、入所時の段階で家族に説明している。最後をひまわりで看取ってあげたい気持ちは職員全員一致し取り組んでいる。	入居時に介護支援ができる範囲で看取りの支援を行う事を説明をして、家族の納得の上で看取りケアを行っている。家族の協力や医療連携を整えている。事業所として終末期ケアの事例がある。		
34	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	すべての職員が救急対応の実技講習を受け、緊急時の対応に備えている。救急時の連絡体制が出来る様にととのえている			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回消防職員の協力を得て避難訓練を行い、消火器の使用方法等を指導して貰い、地域の方たちの協力体制も組織図をもとに訪問し協力を求めている。地震・水害時の避難訓練については検討中である。	年2回、消防署の指導のもと避難訓練を実施している。地震や水害訓練については検討している。地域住民の協力要請の声かけを行っている。その他に自主訓練を計画している。災害時の飲料水や食料などの備蓄はある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>言葉のかけ方によって人は傷つく。プライバシーを損ねない様排泄への声掛けや対応等に気をつける様、ミーティングで常に話しあっている</p>	<p>誇りやプライバシーのマニュアルを見ながら研修している。毎日のミーティングでも話し合い、利用者に対してのさりげない声かけを職員間で配慮している。ケア提供中の言動に気づいた時はその場でお互いに注意している。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>小さな事でも自分で決める場面をつくっているが、場合によつては職員が決める事も少なくない。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>基本的な1日の流れはあります が、時間を区切った過ごし方はない。出来るだけ個人の体調を観ながら希望に添った個々に応じた支援をしている。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>今日はどの服?起床時の着替え、入浴時の準備の手伝いを本人本意で決めて貰い職員もアドバイスする事もある。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	献立はあくまでも栄養士の立てた物が主になる。近所から頂いた物も一品として食べてもらっている。食後は利用者自ら片付けを手伝ってくれる	たこ焼きやホットケーキなどを作ったり、文化祭やバザーでの外食を楽しんでいる。献立は立てているが、近所からの野菜などの差入れがある時は追加で料理を提供している。配膳は各自、自力で行っている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事、水分摂取量は記録で一目出来る様にしている。個々に応じた食事量が提供でき、刻んだりミキサーにしたり、体調を観ながら工夫している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	拒否する方には、口腔ケアの大切さを理解してもらう。理解の出来ない方は水を飲むか、スポンジを使うか、毎食後のケアに努めている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表をもとに、昼間は布パンツ、夜間はリハビリパンツに替える事が出来、経済的負担が少なくなり、大変だと思っていた事が本人の喜びに結び着いた。夜間はベット移動で自力でのトイレが出来る様に工夫している	個々の排泄パターンを把握し排泄チェック表で利用者一人ひとりのトイレでの排泄の自立支援を行っている。夜間帯も利用者それぞれの時間に声をかけ、転倒しないようベットをトイレの近くまで移動し支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44	○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄パターンを把握し、食事や水分に気をつけている。頑固な便秘症もあるので、薬に頼ることも少なくない。			
45 17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまはずに、個々に応じた入浴の支援している	週3回の入浴日は月/水/金と決まっている。拒否がある時は後日に回す事もある。湯船にゆったり入る事が出来るよう配慮し支援している。湯船に入れた喜びは大きい。	入浴は週3回であるが、皮膚疾患が発症している時は毎日シャワー浴を行ったり、腰痛がある利用者には腰痛の緩和を説明し湯船に浸かる等、対応している。入浴をいやがる利用者には無理強いせずに後日入浴している。入浴剤や菖蒲の葉を入れたり、好みのシャンプーやリンスを用いて入浴を楽しんでいる。		
46	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	生活リズムを整えるよう日中の活動を促している。眠剤を止めると不穏に陥る事もあり止めるとの出来ない悩みが伴う。			
47	○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬は日付を入れ、飲み忘れない様係を決めている。薬の処方効能等は個々にファイルし保管いつでも目の通せる状態にある 変更は申し送りで知らせている			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48	○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	カルタを読む人取る人、得意分野を上手く引き出し、下膳や食器拭き等活力を發揮出来る様支援し、感謝の気持ちを伝えていく。			
49 18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	体調の許す限りは日常の外出は出来る様にしている。町の行事等は職員が見学に同行、ひまわり主催の遠足は家族参加を呼びかけ、同伴で楽しみが出来た。母胎施設の祭りや運動会は、家族も参加し喜びがあった。	日常的に園庭に出て体操やひなたぼっこ・近隣を散歩している。家族と一緒に年に2~3回は遠出して花見や遠足を楽しんだり、墓参りをしたりする等の外出支援も行っている。		
50	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金を持つことを忘れている方が大半。家族からお金を預かっている方は支払時は自分で支払いが出来る様配慮している。			
51	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	個々に毎月手紙で状況を知らせている。年賀状等では名前を書いたり、用件を書く方もいた。子供や兄妹からの電話は表情も良く、声も大きい。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を探り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホールに平行棒を置き、個々に歩け歩けの運動をしている姿が何時もある。余暇活動時は全員でリハビリ運動に励み、平行棒を伝って歩く姿が観られる。クリスマスの日はホールいっぱいがイルミネーションで飾られた。	円形型の広い共用のホールには吹き抜けの高い天窓があり明るい。下肢筋力のリハビリを行うための平行棒が置いてある。壁には職場体験学習の生徒の感想文や利用者の誕生会を家族や職員で祝った写真などが飾られている。台所では食事後に利用者が職員と一緒に動いている姿も見られ、居心地よく過ごしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いで過ごせるような居場所の工夫をしている	気の合った同士でテーブルを囲み、気の合った同士でカルタ取りや歌を歌って楽しむ姿がありその中に職員も入り賑やかに振る舞っている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	トイレや洗面が部屋に有り、プライバシーが保たれ、布団・枕等は自分の使って居る物が持ち込まれ、安心して生活が出来る様支援している。	利用者個々の居室には備え付けのベットや棚・トイレ付きの洗面所等が設置されている。自宅で愛用していた馴染みの家具や寝具・小物類・家族の写真等を持ち込んで、それぞれ利用者が安心して過ごせるよう工夫されている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	混乱を避けるため希望する方はドアに名前を掲示し行動の失敗が無いよう見守り、安全で自立した生活を目指し支援している		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者の
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいの
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいの
		<input type="radio"/>	4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/>	1 毎日ある
		<input type="radio"/>	2 数日に1回程度ある
		<input type="radio"/>	3 たまにある
		<input type="radio"/>	4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどいない

			1 ほぼ全ての利用者が
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目 : 49)	<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目 : 30, 31)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目 : 28)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目 : 9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目 : 9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1 ほぼ毎日のように
		<input type="radio"/>	2 数日に1回程度ある
		<input type="radio"/>	3 たまに
		<input type="radio"/>	4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目 : 4)	<input type="radio"/>	1 大いに増えている
		<input type="radio"/>	2 少しずつ増えている
		<input type="radio"/>	3 あまり増えていない
		<input type="radio"/>	4 全くいない
66	職員は、活き活きと働けている。 (参考項目 : 11, 12)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての職員が
		<input type="radio"/>	2 職員の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 職員の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての家族等が
		<input type="radio"/>	2 家族等の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 家族等の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどいない